



NCJTA NEWSLETTER

北加日本語教師会

発行/編集 Northern California Japanese Teachers' Association

<http://www.ncjta.net>

第 49 号・2018 年 10 月発行

北加日本語教師会 2018 年秋の例会

October 27, 2018

Saint Mary's College of California

会長挨拶



会長挨拶

永田憲子



十月に入り季節もよくなり、秋の行事などでも忙しい頃だと存じます。私の大学でも、先日 Mid-Autumn Festival (中秋節) を催し、中国、韓国、日本で十五夜の月を鑑賞する習慣を語り、それに伴うお菓子や芸能などを、学生たちと楽しみました。さて、今月はまた、FLANC の学会と統合した NCJTA 秋の例会が予定されております。今回の開催地は Saint Mary's College で、少し遠出になりますが、皆さまお誘いの上お越し頂ければと存じます。日本語教育関係では、午前に一セッション「語り(ナラティブ)の分析」と、午後に二セッション「反転授業」についての発表が入っております。近年、反転授業を日本語教育に取り入れていらっしゃる先生方も増えてきている中、実例を交えた発表を通して、効果的な反転授業の検討と活発な意見交換ができればと願っております。以下が、秋例会プログラムの概要となっております。では、皆様方のご参加を役員一同心よりお待ちしております。



10月27日(土) FLANC/NCJTA 秋例会
日本語教育関係プログラム

- 10:00-10:50 Second Interest Sessions
『日本語学習者の「語り」の分析：言語教育からの考察』
南 雅彦、サンフランシスコ州立大学
外国語学習者にとって、目標言語でコミュニケーションを十分に達成することは難しい。これは伝達道具としての言語能力が「目的を成し遂げるには限られている」という現実に直面してしまうからである。与えられたタスクが語り（ナラティブ）となると至難の業となるのかもしれない。たとえば、母語話者ならびに日本語学習者はどのような談話構造を用いて体験談（ノンフィクション）や架空の出来事（フィクション）を産出するのだろうか。国立国語研究所で開発された学習者コーパスを用いて「優れた語りとは何か」を考察する。
- 11:00-12:00 Keynote Address
“L2 Pragmatics and Digitally-Mediated Communication: Innovation in World Language Education”
Julie Sykes, University of Oregon
- 12:00-1:30 Lunch
NCJTA 新役員・継続役員の承認挙手、メンバーの懇親会
- 1:30-2:20 Third Interest Sessions
『反転授業の実践と利点』
門脇由江・鈴木紗弓、ネバダ大学リノ校
ネバダ大学リノ校では反転授業を採用したことにより、学生は快適な環境で、それぞれのペースで文法を学習できるようになった。授業に自信を持って臨む学生が増加し、授業時間のより多くを日本語でのコミュニケーション活動に割くことも可能となった。加えて、教師間、セクション間において文法の扱い方や教え方に差が生じるという問題も改善した。本発表では、三年間の実践に基づいたこれらの反転授業の利点について議論するとともに、発表者が開発した反転授業用オンライン教材「Grammar Video for Genki」の取り入れ方について提案する。最後に、反転授業のさらなる可能性についても示唆したい。
- 2:30-3:20 Fourth Interest Sessions
『日本語反転授業の実例と将来の展望』
須田恭子・永田憲子、サンフランシスコ大学
外国語の教室で「コミュニケーション活動」に当てる時間が十分に取れないというのが多くの語学教師の悩みになっている。この悩みを解決するために、「反転授業」を導入している外国語のクラスもある。反転授業とは、従来教室で行っていた新しい学習内

NCJTA 会計から



容の講義を自宅でビデオを視聴して学んでもらい、教室での時間はディスカッション、イベントなど、学生中心の対話、コミュニケーションの活動に使うという授業形態である。この発表ではサンフランシスコ大学の日本語コースで部分的に導入している漢字と読解の反転授業を紹介し、その賛否を論じ、改善点を探る。また今後、中・上級レベルの教室でコミュニケーションやプロジェクト活動を促進するために、どんな反転授業が可能かも検討する。

➤ 3:20 – 3:25 NCJTA 会長からの挨拶

➤ 3:30 – 4:00 NCJTA 役員会合

NCJTA 会計から

NCJTA の会費は一般 15 ドル、学生 5 ドルです。2018 年度分の会費（2018 年 1 月から 12 月まで有効）を未納の方は本ニュースレターに添付の年会費納入用紙とともにご郵送くださるか、秋の例会でお支払いください。昨年までの会費が未納の方も、今年のみで会費で結構です。

秋の例会は例年通り、FLANC の一部として 10 月 27 日（土曜日）に Saint Mary's College of California にて開催されます。尚、事前のグループ登録の締め切りは 10 月 10 日（水曜日） 必着です。グループ登録費は各自 10 ドルと大変お安くなっています。申し込みは、本ニュースレターに添付の申し込み用紙にチェックを添えてご郵送ください。なお、事前のグループ登録に間に合わない場合は、当日直接 FLANC の受付にて登録することも可能ですが、以下のように登録費がかなり高くなりますので、ご注意ください。

Pre-registration Fees (Pre Reg Deadline - October 13)	
Member	☐ \$65
Non-Member	☐ \$80
Student	☐ \$30
On-site Registration Fees	
Member	☐ \$75
Non-Member	☐ \$90
Student	☐ \$35
Registration includes Breakfast, a Delicious Buffet Lunch, and Parking!	
* Please note that after October 19, registration will be on-site only. ** We have a NoRefund policy. Sorry for the inconvenience.	

詳しくは FLANC のホームページ(<http://fla-nc.org/wp/>)をご覧ください。

（文責：近藤・斉藤）

秋の役員会議事録



秋の役員会議事録

日時：2018 年 9 月 9 日 11 時より午後 1 時半まで

場所：265 Kalmanovitz Hall, University of San Francisco

出席者：永田、南、斉藤、近藤、高松、三上、和氣、田中、熊倉、伊藤、今川、須田
(順不同)

議題

- 2018 年春の役員会議事録の承認
- 役員任期満了に伴う役員改選について
- 会計報告
- NCJTA ウェブサイトのリニューアルについて
- 秋の例会について
 - FLANC と 10 月 27 日（土）に合同開催 (Saint Mary's College of California)
 - 日本語関係発表者 5 名(3 セクション)
 - 参加費 10 ドル（グループ割引、事前登録締切 10 月 10 日）
 - 昼食を 15 ドルで提供
- ニュースレターについて
- 日本語弁論大会・能力試験について
 - 北加日米会、サンフランシスコ総領事館、NCJTA 共催の日本語弁論大会に NCJTA から例年通り 100 ドル寄付

(文責：須田)

春の例会

2018 年 春の例会報告

批判的思考能力を高める「社会問題を扱った日本語授業」

4 月 8 日、サンフランシスコ大学で開催された春の例会で、北サリナス高校の安座間喜治先生が「社会問題を扱った日本語授業」をテーマに発表とワークショップを行いました。安座間先生は、ロールプレイやゲームなどを用いて行う会話中心の授業の成果が認められ、2012 年 ACTFL 最優秀教師賞を受賞。日本語だけでなくあらゆる言語教師の指導に当たってきました。ある時、「でも、楽しいだけでいいのだろうか」と反省し、社会問題に目を向け、批



判的思考能力を高めながら日本語を学ぶことができるよう、日本社会における貧困の問題などを取り上げた授業を編み出したと言います。外国の問題として、生徒自身も直面する同様の社会問題を、興味を持って語り合える利点があることなど、北サリナス高校の生徒の発表の実例を示し、その成果を発表しました。

その後、参加者は、小グループに分かれて日本の社会問題をブレインストームし、安座間さんの指導のもとワークショップを行いました。小、中、高校、そして大学とレベル別の工夫と学習支援の方法、また、学習成果をどのように評価すれば良いかなど話し合いました。

(写真・文責：清水)



『言葉の窓』



『ミドルベリー大学日本語夏学校を振り返って』

武内（小寺）由美先生

ミドルベリー大学日本語夏学校

ミドルベリー大学はバーモント州にある 1800 年創立のリベラルアーツの大学で、100 年以上続いている夏の集中語学学校で有名です。フランス語やポルトガル語など 11 カ国語を学ぶことができます。その中でミドルベリー大学日本語夏学校（以下日本語学校）は 1970 年に創立され、来年 50 周年を迎えます。

日本語学校では、毎年約 80 人の学生が 20 名余りの教員とひとつ屋根の下、同じ寮で生活しながら、日本語や日本文化を学びます。集まる学生は様々で、高校生や大学生だけでなく、大学の教授や会社の CEO など社会人も多くいます。しかし、日本語学校の校長を務められたパデュー大学の畑佐一味先生の言葉をお借りすると、ミドルベリー大学日本語夏学校には 2 種類の人間しかいません。それは『日本語を勉強したい人』と『日本語を教

えたい人』です。教員一人当たりの学生数は4～5人程度で、教える方も学ぶ方も大変恵まれた環境にいますと言いますが、通常10ヶ月の時間をかける内容を8週間でカバーするのは非常に大変なことも確かです。

ミドルベリーの語学学校の大きな特徴が入学時に学生全員が「8週間、学習する言語以外は使いません」というLanguage Pledge（言語誓約書）にサインをすることです。つまり日本語学校の学生は特別な講義等を除き、8週間日本語のみを使って生活します。授業はもちろん、休み時間、食事の時間、午後の書道や落語などのクラブ活動もすべて日本語だけで行われることになっています。日本語学校では初級から上級まで5つのレベルが開講されていますが、学生は教員とも、他の学生とも日本語でしか話してはいけません。



私は今年の夏、3度目の参加だったのですが、初めて初級1を教えました。実は初級1はゼロ初級者も多いため、レクチャーの授業で多少英語の使用が認められています。しかし、今年の学生たちは授業中も日本語で質問しようと頑張っていたため、レクチャーの授業もほぼ100%日本語で行われました。食事の時間も臆することなく話せるように、毎年『初級1テーブル』を設けています。特に最初の内は自己紹介した後は、黙々と食べるという光景も目にします。ここでも今年の初級1は果敢に他のレベルの学生と一緒に座り、ジェスチャーを交えながら一生懸命日本語を話していて、笑い声がする方を見てみたら初級1の学生が一番笑っているということもありました。名門大学の学生、教授、社長が毎回「おいしいですか」「おいしいです」レベルの会話を繰り返すのはそれなりの葛藤があると思います。しかし、時間が経つうちに話せることがどんどん増え、学生も自身の成長を感じ、日本語でのコミュニケーションを楽しんでいるようでした。このような上達の速さを目の当たりにできるのも初級を教える醍醐味であり、日本語教師としてやりがいを感じる瞬間でもあります。

学生の評価でも特に初級1レベルのLanguage Pledgeについては賛否両論分かれます。「初級1で日本語のみは無理がある。英語で話した方が早い」「Language Pledgeがあるなら、そもそも初級1の学生を受け入れるべきではない」という否定的な意見もあります。しかしLanguage Pledgeがあったから、「甘えずに日本語を学ぶことができた」「限られた時間の中で多くを学ぶことができた」という意見もあります。日本語学校の教員は学生が日本語以外の言語を使っていないか常に目を光らせているLanguage Policeではありません。畑佐校長がオリエンテーションで学生にLanguage Pledgeは『自分との約束』であると話していました。8週間自ら課した約束を守ることのできる達成感、自信は今後の人生の中できっと大きな財産になると思います。アメリカにいながら日本にいるよりも日本語を使い、日本文化に触れられるプログラムはなかなかないと思います。14年間、日本語学校の校長を務められた畑佐先生がこの夏をもって退職されました。畑佐先生が築かれてきたミドルベリー大学日本語夏学校の歴史に新たな歴史が刻まれていくことを期待しております。



国際お茶学会 報告 清水オブライアン真佐子先生

4月29日、お茶三昧サンフランシスコ国際学会が、サンフランシスコ州立大学で開催されました。北加日本語教師会などが協賛。緑茶の健康効用の科学的証明から、和菓子の歴史まで、茶の湯の食文化をテーマに、日米両国の専門家が講演しました。5回目を迎えた同学会には、茶道愛好家、日本語教師、日本語を学ぶ学生に加え、陶芸家、サイエンスライター、移民コミュニティで食文化の啓蒙に努めるNGO主催者など幅広い参加者約200名が参加し大盛況でした。

東京竹葉亭(大阪府)のオーナー津田兼太郎氏は、「旨味と風味の『出汁』が決め手」など、四季を生かした懐石・会席料理の特徴と歴史を説明しました。立ち見も出た満場の聴衆からの質問に次々と答えました。舞台上調理実演をしたのは同店の荻野祐司、山下正芳料理長。「桜づくし会席」をテーマに盛り合わせが完成すると、大きな歓声が沸きました。

次回は、『世界交易の茶の湯への影響:シルクロードと大航海時代』をテーマに来年4月28日開催予定。「小さな茶室は遠大な世界と結びついているのです。どうぞお楽しみに。」(主催者マツキオン教授談)

お知らせ

総領事館インフォメーションセンターから

1. 第45回日本語弁論大会のお知らせ

北加日米会、北加日本語教師会及び在サンフランシスコ日本国総領事館は、第45回日本語弁論大会を以下の通り開催します。本弁論大会は、より多くの皆様に日本語を学習していただき、日頃の学習成果を披露していただくことを目的に行います。参加及び入場は無料です。奮ってご参加ください(詳細は当館ホームページをご参照願います)。

【日時】2018年11月4日(日) 午前10時: 中高校生の部、午後1時半: 大学・成人の部

【会場】Japanese Cultural and Community Center of Northern California (1840 Sutter Street, San Francisco, CA 94115)

【総領事館ホームページ】http://www.sf.us.emb-japan.go.jp/itpr_ja/m07_02_06.html

2. JET プログラムの募集開始

JET プログラムの募集が 10 月に始まります（応募書類は在アメリカ合衆国日本国大使館のホームページから入手可能です）。

JET プログラム（The Japan Exchange and Teaching Program）とは、アメリカをはじめとする外国の青年を日本の地方自治体で雇用し、学校における英語教育の充実と地域の国際交流の推進を図る事業です。JET 参加者はいずれも大都市から地方の中小都市や農村漁村まで、全日本の津々浦々に配置されます。日本や国際交流に関心のある学生の皆さんに是非ご案内ください（なお、大学卒業が応募要件の一つとなっています）。

3. 年賀状コンテストの開催

当館は、小学生及び中学・高校生を対象にした「年賀状コンテスト（2019 年亥年）」を今年も開催します。詳細は改めてご案内しますが、12 月から 1 月中旬にかけて作品を募集し、1 月後半以降、当館広報文化センターにおいて応募いただいた全ての作品を展示する予定です。例年多くの作品が集まり、審査にも大変力が入るコンテストとなりました。今年も是非奮ってご応募ください。

（サンフランシスコ日本国総領事館 草清 理絵）

第 45 回日本語弁論大会開催のお知らせ

上記領事館からのお知らせにもあるように、北加日米会および在サンフランシスコ日本国総領事館は、第 45 回日本語弁論大会を以下の通り 11 月 4 日（日）に日本町の Japanese Cultural and Community Center of Northern California（JCCCNC）にて開催します。本年より会場が変更となりましたのでご注意ください。

本弁論大会は、より多くの中高校生や社会人に日本語を学習してもらい、日頃の日本語学習の成果を披露してもらうことを目的に行います。参加および入場は無料です。参加応募締め切り（2018 年 10 月 12 日（金）午後 5 時必着）など、本大会に関する詳細については、総領事館および北加日米会のホームページにも掲載されていますので、ぜひご覧ください。

（文責：南）

日本語ページ

http://www.sf.us.emb-japan.go.jp/itpr_ja/m07_02_06.html

英語ページ

http://www.sf.us.emb-japan.go.jp/itpr_en/e_m05_01_06.html

➤ 日時：2018年11月4日（日）

午前10時：中高校生の部

午後1時半：大学・成人の部

➤ 開催場所：Japanese Cultural and Community Center of Northern California (JCCCNC)

住所：1840 Sutter Street, San Francisco, CA 94115

本件問合せ先：

在サンフランシスコ日本国総領事館 広報文化センター

住所：275 Battery Street, Suite 2100, San Francisco, CA 94111

文化事業コーディネーター 武井 mariko.takei@sr.mofa.go.jp

電話：415-780-6091（広報文化センター）

45th Annual Japanese Speech Contest

The Japanese American Association of Northern California (*Hokka Nichibei Kai*), the Northern California Japanese Teachers' Association (NCJTA), and the Consulate General of Japan in San Francisco are delighted to announce the 45th Annual Japanese Speech Contest on Sunday, November 4, 2018, at the Japanese Cultural and Community Center of Northern California (JCCCNC) located in San Francisco's Japantown.

(Notice by Dr. Minami)

- **DATE/TIME:** Sunday, November 4, 2018
 - 10:00 a.m.: Middle and High School Students
 - 1:30 p.m.: College Students and Adults
- **PLACE:** Japanese Cultural and Community Center of Northern California (JCCCNC)
1840 Sutter Street, San Francisco, CA 94115

The primary objective of this contest is to encourage the learning and use of the Japanese language in the San Francisco Bay Area community, particularly among non-native speakers of Japanese. Consisting of (1) the **Middle and High School Student Division** and (2) the **College Student and Adult Division**, the speech contest represents a fun and challenging way for students at all levels to demonstrate their language and communications skills (application: no later than 5:00pm on Friday, October 12th, 2018). This event is free and open to the public. We hope to see you there! We also hope that you will share this information with anyone you think may be interested in joining the contest.

For further inquiries:

Consulate General of Japan in San Francisco

Address: 275 Battery Street, Suite 2100, San Francisco, CA 94111

Attn.: Cultural Affairs Coordinator, Ms. Mariko Takei

Tel: 415-780-6091 (Japan Information & Cultural Center)

E-mail: mariko.takei@sr.mofa.go.jp



ワークショップ・イベントのお知らせ

- *Foreign Language Association of Northern California* (FLANC) Fall Workshops and Conference
 - 日時：10月27日(土) 9:00 AM – 3:20 PM
 - 場所：St. Mary's College, Moraga <http://fla-nc.org/wp/>
- グループ事前登録に関して、会員の皆様にはメールでお知らせしております。グループ事前登録は\$10なので、通常のFLANCメンバー(\$50)、ノン・メンバー(\$65)の登録料などと比較しても、ずいぶんお得感があります。事前登録していただきますと、NCJTA秋の例会ならびにFLANCに終日参加できます(FLANCのメンバーか否かは問いません)。
- ただし、北加日本語教師会がお取り扱いするグループ事前登録は10月10日までに**必着、締切り**です。それまでにグループ事前登録されなかった方は、誠に恐れ入りますが、当日個人でご登録いただくことになります。ご理解ください。
- グループ事前登録の小切手の支払先名は「FLANC」ではなく、「NCJTA」ですので間違いのないようお願いします。
 - 登録料：\$10 朝食・昼食代：\$15 (朝食・昼食代は\$35ですが、FLANCが\$20負担しますので、\$15です。朝食・昼食が必要なければ、登録料\$10のみです。)
 - 小切手支払先名：NCJTA

小切手の送付先：Mayu Kondo Loffgren, Department of World Language and Literatures, San Jose State University, Clark Hall 421, One Washington Square, San Jose, CA 95112-0091

- 例会とワークショップは、ネットワーキングの場としてご活用いただけるよう極力配慮いたしますので、どうかふるってご出席ください。

(文責：南)



日本語能力試験 (Japanese Language Proficiency Test) の

お知らせ

習得した日本語能力を客観的に測定し、これを公的に認定する制度である『日本語能力試験』が、今年度もサンフランシスコ州立大学で12月2日(日)に実施されます。試験監督としてご協力いただいている経験豊富な日本語の先生の皆様にはたいへんお世話になっております。

試験会場も年々増加し、本年は全米 18 会場となりました。サンフランシスコ会場の受験者定員 650 名は、ロサンゼルス会場の 700 名に次ぎ全米 2 番目の規模です。また、特別措置を必要とする受験者も例年数名おります。このように大規模になりますと、NCJTA 会員の先生には今年度も試験監督をお願いしなければなりません。何卒、本年も引き続きご協力のほど、よろしくお願いいたします。

現行の試験形式は、5 レベル、N1 (Advanced)、N2・N3 (Intermediate)、N4・N5 (Beginner) となっています。試験科目は、「言語知識 (文字・語彙・文法)」「読解」「聴解」の 3 セクションに大別できますが、最も難易度の高い N1 と、その次に難易度の高い N2 では「言語知識」と「読解」が一つの試験科目として 1 セクション、つまり、全体で 2 セクションとなっていますので、ご注意ください。ちなみに、受験願書の受付期間は 8 月 27 日から 10 月 1 日となっていました。

(サンフランシスコ州立大学 南 雅彦)



先生の紹介欄

森山なな子先生



- お名前を教えてください。
森山なな子です。
- 教えている学校名、町を教えてください。
サクラメントの Buddhist Church of Sacramento の中に
ある「Sakura Gakuen」です。

➤ 日本語教師はいつから？

2007 年からです。2011 年まで日本の日本語学校で留学生を対象に、2012 年からの 2 年間は青年海外協力隊としてインドの大学で教えていました。帰国後は、留学生や就労で日本へ来ている外国の方に教える仕事をしていました。今の「さくら学園」は 2016 年の秋からです。

➤ ご趣味は？

本当はハイキングやキャンプなど自然の中にいるのが好きなのですが最近は何もできていません。趣味と言えるかわかりませんが、今は美味しい物を食べるのが楽しみです。

➤ 日本の出身地は？

生まれも育ちも大阪です。

- **アメリカ／カリフォルニアに来てから何年ですか。**

2016 年の夏にサクラメントに来ましたので、ちょうど 2 年になります。

- **仕事について、何か一言お願いします。**

今は「さくら学園」で中高生のアドバンスクラスを担当しています。私にとって 18 歳以下の生徒は初めてですし、また個々の日本語レベルの差が大きいこともあり、始めて 2 年経った今も授業の進め方や内容をどうすればいいか、いつも悩んでいます。週に一日、3 時間だけの授業ですが、生徒たちにとって有意義で、何か学びのある授業にすることを念頭に置いています。

- **会員のみなさんへのメッセージがあればどうぞ。**

先週から新学期が始まり、気持ちを新たに、楽しい授業作りを目指しています。ぜひ、高校の先生やこちらで長年教えていらっしゃる先生方からアドバイスやアイデアをいただければと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

鈴木正先生



- **お名前を教えてください。**

鈴木 正（すずきただし）です。

- **教えている学校名、町を教えてください。**

サクラメント市にあるケネディ高校で教えています。

- **日本語教師はいつから？**

2005 年から教えています。

- **ご趣味は？**

家族旅行です。特に車でアメリカ国内を家族と義理の父母といろいろなところに行きました。思い出の場所はカナダのバンクーバーアイランドとナイアガラの滝です。

- **日本の出身地は？**

新潟県です。コシヒカリの水田地帯です。

- **アメリカ／カリフォルニアに来てから何年ですか。**

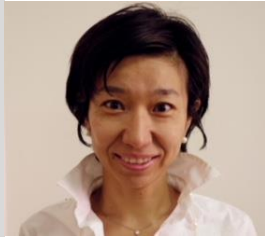
最初に来たのは随分昔です。最近では 2003 年から住んでいます。

- **仕事について、何か一言お願いします。**

私は高校生に日本語を教えることが大好きです。姉妹校ができるので交流が楽しみです。

- **会員のみなさんへのメッセージがあればどうぞ。**
初めましてよろしくお願いします。

高原京子先生



- **お名前を教えてください。**
高原京子と申します。
- **教えている学校名、町を教えてください。**
University of California, Berkeley, Berkeley, CA でございます。
- **日本語教師はいつから？**
2004 年からですが半ばブランクがあります。
- **ご趣味は？**
ヨガ、ヒーリング、ハイキング、読書、旅行でございます。
- **日本の出身地は？**
兵庫県 神戸市でございます。
- **アメリカに来てから何年ですか。**
カリフォルニアへまいり 8 年になります。
- **仕事について、何か一言お願いします。**
2018 年 8 月より UC バークレーで教えさせて頂いております。素晴らしいプログラムで学生もよく勉強しており学ぶことが多い日々です。先生方には優しく声をかけて頂いたり、ご指導頂いております。そして今までにお世話になった先生方、ご縁があった学生達、そして家族の支えがあり今の私があることを深く感謝しながら家庭、子育て、お仕事をバランス良くできるよう又心身共に健康でいられるよう精進しているところでございます。
- **会員のみなさんへのメッセージがあればどうぞ。**
素晴らしい先生方の発表を拝聴させて頂き、今後も学び続けたいと存じております。学会でお目にかかれる日を心より楽しみにしております。お読み下さりどうもありがとうございます。

学校からの
ニュース！

私の学校でこんなことが.....

ローザパークス JBBP 小
学校
和氣かおり先生



ローザパークス JBBP 小学校では、9月28日（金）に運動会が行われました。JBBPの全校児童約250名が、紅白に分かれて、徒競走、玉入れ、障害物競走、大玉転がし、リレー、ダンス等を行いました。そして子供だけでなく、たくさんの保護者の皆さんも、運動会に参加し、会場設営や各係のお手伝いをしてくださいました。中でも、保護者や教職員による玉入れは、大盛り上がり！

フレフレ赤！フレフレ白！子供達の応援の音が、グラウンドに響き渡りました。JBBPの児童、大人、共に大興奮の一日でした！

プレジディオ中学校
田中理恵先生



J-LEAP(米国若手日本語教員)プログラムより鈴木怜果先生を迎えました。2018-20年の2年間、co-teachで中学校での日本語を盛り上げていく予定です。J-LEAPについて興味のある方はこちらをどうぞ。

<https://www.laurasian.org/jleap>

アラゴン高校
細井淳子先生

レベル1のクラスでひらがなアートポスターコンテストをしました。毎年、ひらがなのあ〜んの学習が終わった後で、行っています。絵を描いた後、輪郭に小さいひらがなを順番に書いてなぞり、色を加えます。教室に貼り出して、日本語を履修している生徒が全員人気投票します。今年は鯉が泳いでいるデザインが優勝しました。



UC バークレー
清水オブライアン
真佐子先生



多言語パフォーマンス

日本語初級「クイズショー」奮闘！

4月13日、UCバークレーランゲージセンター主催で Words In Action が行われ、アラビア語ハンガリー語など10ヶ国語を学ぶ学生が詩の朗読、フォークダンスなどを演じ、日頃の学習

北加日本語教師会
連絡先

の成果を披露しました。日本語初級クラスの学生は、「West meets East: Ultimate Tokyo Quiz Show 究極の東京クイズショー」を自作自演し、会場を沸かせました。日本語を学び始めて3ヶ月、知る限りの文法を用いて学生が書いた脚本は、日本のクイズ番組に迷い込んだ彼らが、東京名所に関する質問に答え、勝ち残って行くストーリー。原宿や秋葉原を描いたポスターを小道具に、会場の観客も巻き込み、楽しんで演じました。「日本語がわからなくても、楽しめた」と大好評でした。学生が皆で頭を寄せ合ってセリフを決め、音楽を選び、衣装を調達しました。日本総領事館文化担当の「これで、本当に初級ですか」という言葉は、週末にも練習した学生の励みになりました。これからも自信をもって学び続けるに違いありません。

NCJTA Officers

<事務局>

<http://www.ncjta.net/>
NCJTA. c/o Nagata Noriko
Modern and Classical Languages, Kalmanovitz Hall 382
University of San Francisco
2130 Fulton Street, San Francisco, CA 94117-1080
E-mail: nagatan@usfca.edu

<役員>

会長：Noriko Nagata 永田憲子(同上)

副会長：Masahiko Minami 南雅彦
San Francisco State University
E-mail: mminami@sfsu.edu

書記：Kyoko Suda 須田恭子
University of San Francisco
E-mail: sudak@usfca.edu

会計：Kondo Mayu 近藤まゆ
San Jose State University
E-mail: mayu200987@gmail.com

Momoe Saito Fu 斉藤百恵
Stanford University
E-mail: msfu@stanford.edu

ニュースレター編集：Yuriko Miyamoto 宮本百合子
University of California, Berkeley
E-mail: ymcaltabiano@berkeley.edu

Kayoko Imagawa 今川香代子
University of California, Berkeley
E-mail: kimagawa@berkeley.edu

広報：Masako Shimizu O'Bryan 清水オブライオン真佐子
University of San Francisco
E-mail: masakoshimizu@sbcglobal.net

フランク連絡員：Masahiko Minami 南雅彦

San Francisco State University

E-mail: mminami@sfsu.edu

Nobuko Takamatsu 高松信子

E-mail: nobukot@sbcglobal.net

ウェブ担当：Koraku Mikami 三上香楽

Eimei University

E-mail: tmfrontier@gmail.com

<各レベル代表>

小中学校代表：Kaori Waki 和氣かおり

Rosa Parks JBBP Elementary School

E-mail: kwaki@sbcglobal.net

Rie Tanaka 田中理恵

Presidio Middle School

Email: rietanaka@gmail.com

高校代表：

E-mail:

学園代表：

E-mail:

コミュニティーカレッジ代表：Akihiko Kumakura 熊倉昭彦

Diablo Valley College

E-mail: AKumakura@dvc.edu

大学代表：Junko Ito 伊藤潤子

University of California, Davis

E-mail: jito@ucdavis.edu



Northern California Japanese Teachers' Association



Northern California Japanese Teachers' Association

会費納入/新会員登録用紙

前年度もしくは前々年度から未納入の会員の方々におかれましては、過去にさかのぼって未納入分はご請求いたしませんので、是非とも今年度分からお支払いいただけますよう、切にお願い申し上げます。2018年度分の会費は2018年1月1日から2018年12月31日まで有効となっております。

年会費 一般\$15、学生\$5 Check payable to: NCJTA

Mail to: Mayu Kondo Loffgren
San Jose State University
Department of World Language and Literatures
Clark Hall 421, One Washington Square
San Jose, CA 95112-0091

(新規・継続) どちらかにマルをつけてください。

Name: _____

Affiliation: _____

School/office Address: _____

Home Address: _____

E-mail: Home: _____ Work: _____

Phone: Home: _____ Work: _____

1) 受理確認メール (要・不要) 2) 領収書 (要・不要) どちらかに○をつけてください。

.....き.....り.....と.....り.....線.....

住所変更/氏名変更等届出用紙

下記のうち該当する変更事項を○で囲み、必要な情報を書き入れてください。

変更のない方は、提出の必要はありません。

Mail to: Mayu Kondo Loffgren
San Jose State University
Department of World Language and Literatures
Clark Hall 421, One Washington Square
San Jose, CA 95112-0091

1. 氏名の変更 旧氏名 (漢字/カタカナ) :
(英語) :
新氏名 (漢字/カタカナ) :
(英語) :

2. 住所変更/勤務先変更 (新しい情報だけご記入ください。)

Name: _____

Affiliation: _____

School/office Address: _____

Home Address: _____

E-mail: Home: _____ Work: _____

Phone: Home: _____ Work: _____